



文化財活用センター事業報告書 2024年度



独立行政法人国立文化財機構

文化財活用センター

文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた人類のたからものです。私たちは、文化財を通して、それをつくり、つかった人びとの暮らし、大切にしてきた思い、美しいと感じるところに触れ、歴史やそこに流れる伝統的な価値観を学ぶことができます。それは、私たちがお互いを尊重し、豊かな人生を生きるための糧であり、新たな文化を創造する源になります。



この人類のたからものである〈文化財〉を1000年先、2000年先の未来に伝えることは、今を生きる私たちに課された重要な使命です。

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、あらゆる地域で、子どもから大人まですべての人びとが、日本の文化財に親しみ、身近に感じることができるよう、文化財の活用に関する新たな方法や機会を開発し、情報基盤の整備を目指します。これまでミュージアムを利用する機会に恵まれなかった人を含め、多くの人びとが、文化財を通して豊かな体験と学びを得ることができるよう、文化財を活用した新たなコンテンツやプログラムの開発を行います。

文化財に関わるすべての人びとが、自ら発案し、その力を発揮する機会をつくるとともに、人材育成に取り組み、地域の活性化にも寄与します。

ミュージアムに関わる人はもちろん、一般市民も、企業やさまざまな社会的団体も、すべての人びとが、文化財を「守り」「伝える」ために、考え、参加する社会を作ります。



ご挨拶

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、2018年7月、独立行政法人国立文化財機構に設置された組織です。文化財の保存と活用の両方に留意しながら、多くの人に文化財を通して豊かな経験と学びを得る機会を提供することを目指して、さまざまな活動を行っています。

本報告書は、2024年度に実施した事業について、その概要と成果を記録、公開することを目的として作成したものです。

2024年度は、新しい事業を開発するのみならず、これまでに創り上げてきた事業や取組を次のステップへと展開させることにも注力してまいりました。多くの旅行者が行き交う羽田空港や東京国際クルーズターミナルでは高精細複製品を活用した体験型展示により、国内外の方々に日本の文化財を身近に感じていただく機会を提供するなど、〈ぶんかつ〉の活動の場は着実に広がっています。

また、機構所蔵文化財の貸与促進や、保存環境に関する調査協力・研修等を通して、地域のミュージアムとの協力・連携に積極的に取り組むとともに、デジタル資源化を推進し、情報の利活用を促進してまいりました。加えて、ファンドレイジング活動では、これまでご支援をいただいたみなさまに文化財の修理報告や鑑賞会を実施し、いただいたご縁をより豊かに紡いでいけるよう努めてまいりました。

〈ぶんかつ〉の活動にご協力いただいている関係機関、関係者の皆様、〈ぶんかつ〉が実施した各種事業にご参加・ご賛同いただいた多くの方々に、あらためて心より感謝申し上げます。

設立より6年にわたる事業活動の根幹にあるのは、多くの方に文化財に親しみを持っていただき、文化財を未来へとつなぐ、という私たち〈ぶんかつ〉のミッションです。文化財活用のナショナルセンターとして、これまで培った知識や経験を機構の枠を超え広く全国のミュージアム等に還元できるよう、常に「とびら」を開き、より包摂的な事業を展開してまいります。

今後も引き続き、文化財をより身近に、「きれい!」「楽しい!」「面白い!」と感じていただけるよう、職員一丸となって尽力してまいります。常に「進化」し続ける〈ぶんかつ〉の取組にご期待ください。

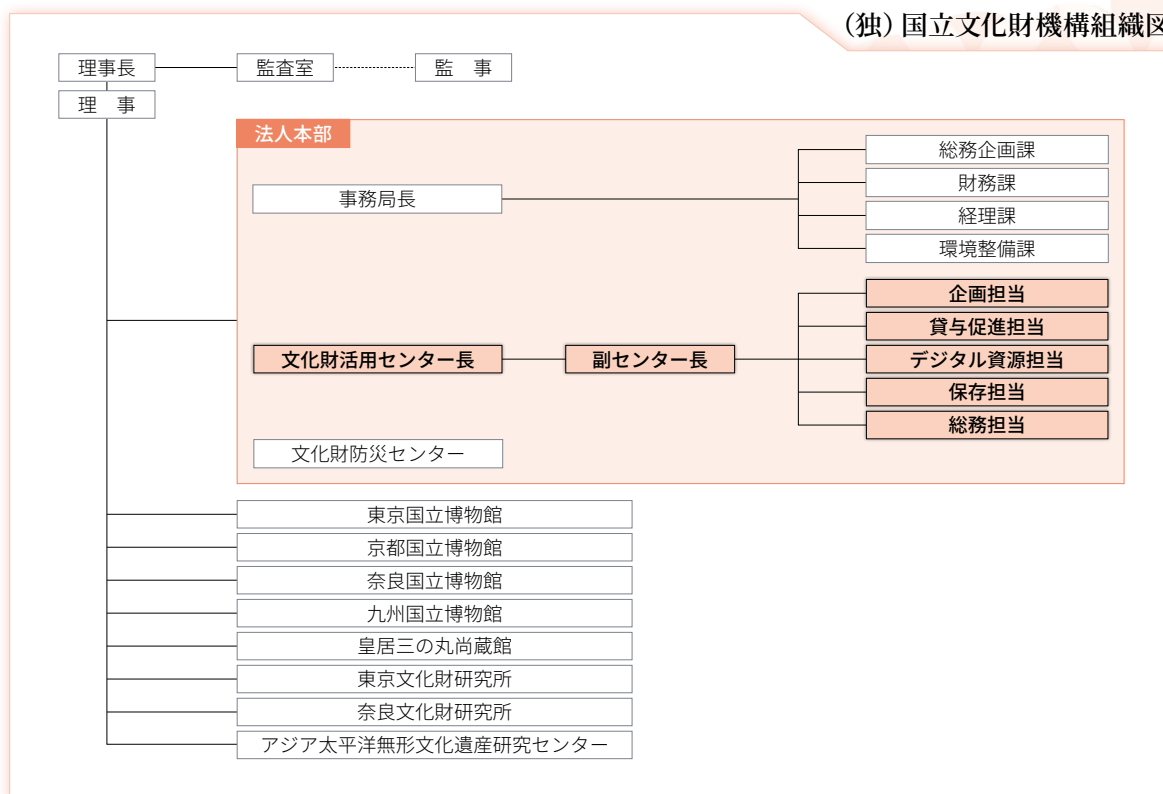
文化財活用センター長 大美 慶昌



組織図

(2025年3月31日時点)

(独) 国立文化財機構組織図



概 要

2024年度 人と文化財の橋渡し

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、あらゆる地域で、すべての人びとが、文化財を通して豊かな体験と学びを得ることができるよう、さまざまな活動を行っている。そして、その体験と学びが、「きれい!」「楽しい!」「面白い!」であるために、新しいアイデアや技術を取り入れている。

■共同研究

文化財の魅力を伝えることを使命とする〈ぶんかつ〉であるが、私たちがもつ技術や情報だけでは不可能で、企業や他の博物館などの力を借りる必要がある。2024年度はキャノン株式会社、TOPPAN株式会社、シャープ株式会社・シャープマーケティングジャパン株式会社、日本放送協会（NHK）、国立科学博物館と共同研究を実施した。

きものに親しむ体験型デジタルコンテンツ「江戸きものLOOKBOOK」はシャープ株式会社・シャープマーケティングジャパン株式会社と共同で制作した。自分でデザインした着物をバーチャルにモニター上で試着していただくもので、外国人来館者にも好評であった。東京国立博物館所蔵の「自在蛇置物」の動態展示は、国立科学博物館との共同研究である。自在に動く蛇の置物の複製を製作し、自動で動かす仕掛けによるリアルな蛇の動きが人々の目を楽しませた。その他の企業との共同研究も多くの成果をあげている。

■文化財を届ける

多くの人に文化財にふれていただくために、〈ぶんかつ〉が輸送費等を支出して作品を貸し出す国立博物館収蔵品貸与促進事業を引き続き実施した。6つの展覧会に対し86件の作品を貸し出し、会場には合計で60,569人の来場者があった。一部の展覧会では広報活動も協力し、多くの人が文化財に触れる機会を創出した。

旅の起点となる羽田空港と東京国際クルーズターミナルで、キャノン株式会社との共同研究で製作した複製屏風を展示して国内外の人びとの目を楽しませている。この事業は通年で行うもので、両施設のご協力によって実現した。

■緑の下の仕事

ColBaseは国立文化財機構所蔵の文化財のデータベースである。文字データはほぼ全作品を提供している。画像の掲載はそのうちの約3割にとどまり、画像の充実が目下の課題である。また、約15万件もの作品を含むデータベースから必要な作品を探すのは容易ではないので、希望の作品を容易に探すことができる作品の「種別」情報を加える作業を続けている。

各地の博物館等は人びとが文化財にふれる貴重な場である。〈ぶんかつ〉はさまざまな展示施設から展示環境についての相談を日々受けている。そのうち、文化庁に協力して適切な展示環境を実現するための助言をする環境調査は55施設を対象に行った。

■人と文化財をつなぐ

各地で発生する災害は、人びとの生命や生活をおびやかすばかりでなく、これまでに培ってきた有形無形の文化も破壊する。〈ぶんかつ〉は、文化財防災センターと協力をして被災文化遺産の救援に必要な初動対応費用を集めるためのクラウドファンディングをはじめた。2025年3月から3か月間の募集であるが、多くの寄附をいただいております、人びとの文化遺産を大切にしたいという思いが伝わる。〈ぶんかつ〉は、これからも人と文化財の橋渡しを進める。

企画担当

企業等と連携して、先端的な技術を用いた文化財の複製やデジタルコンテンツを開発するとともに、体験型展示を国立博物館ならびに地域のミュージアムで展開。これまでミュージアムを利用する機会がなかった方々を含め全国の多くの人びとが、文化財に親しみ、豊かな体験と学びを得ることを目指す。

■ 体験型展示(レプリカ・デジタルコンテンツ活用)

実施事業数
9件

2018年の発足から2023年度までの活動をベースに、文化財の複製や映像等のデジタルコンテンツを使った体験型展示を東京国立博物館および地域の施設で展開した。普段日本の古い美術品にふれる機会の少ない方々や、博物館にきたことのない方々にも、文化財の魅力を感じてもらえる機会となることを意識し、親しみやすいコンテンツの制作と活用に取り組んだ。

① 江戸きものLOOKBOOK

会期	2024年7月23日(火)～9月23日(月・祝)
会場	東京国立博物館 本館特別3室
概要	シャープ株式会社・シャープマーケティングジャパン株式会社と共同し、ファッションのひとつとしてきものに親しんでもらうことを目的とした、体験型のデジタルコンテンツを公開した。江戸時代に制作されたスタイルブックである小袖雛形本を起点に、体験者はタッチモニターで東京国立博物館所蔵の小袖・振袖1点を選び、きものや模様の色をカスタマイズする。それを86インチの4Kモニターに投影し、バーチャルでの着用体験を叶えた。公開にあわせて、2024年7月28日(日)「トーハクキッズデー」ではきものや雛形本に関する子供向けのギャラリートーク「江戸きものファッションツアー」を開催した。
アンケート結果	全体の印象「とてもよい」「よい」93.9%



② 日本美術のとりば

会期	通年展示
会場	東京国立博物館 本館特別3室
概要	映像、高精細複製品やデジタルコンテンツによる、日本美術を楽しむための常設の体験展示スペース。より多くの人びとがインタラクティブに文化財に親しめるよう、展示室内には以下の3つのコーナーを設置。 ■ コーナー1：みる 〈日本文化紹介映像〉 ■ コーナー2：たのしむ 〈日本美術のデジタル年表〉 ■ コーナー3：かんじる 〈高精細複製品〉 ※季節に合わせて展示替え



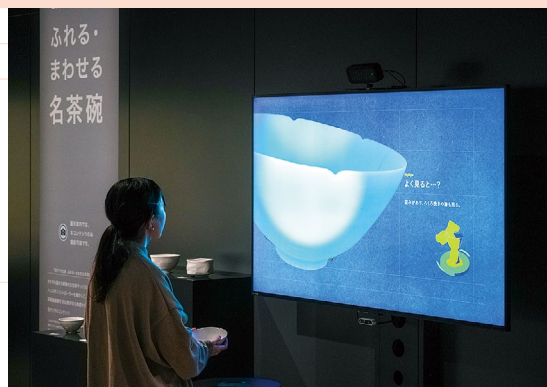
③ デジタル法隆寺宝物館

会期	通年展示 ※半年ごとに展示替え
会場	東京国立博物館 法隆寺宝物館中2階
概要	常時展示がかなわない法隆寺ゆかりの名宝を、デジタルコンテンツや複製でくわしく鑑賞、体験できる展示室。前年度から継続して国宝「聖徳太子絵伝」や「法隆寺金堂壁画」をテーマに、グラフィックパネル(複製)と、大型8Kモニターで絵の詳細まで自在に鑑賞できるデジタルコンテンツを展示した。そのほか、古代の仮面芸能の色鮮やかな世界観を示す伎楽面や装束の復元模造を組み合わせて法隆寺ゆかりの宝物の魅力を紹介した。
アンケート結果	【満足度】 「聖徳太子絵伝」 日本語89.4%、英語100% 「法隆寺金堂壁画」 日本語88.6%、英語100%



④ 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」

会期	2025年1月31日（金）～3月16日（日）
会場	岡山県立博物館
概要	岡山県立博物館と共同し、同館の特別展「茶碗 茶の湯にふれる」内でインタラクティブなデジタルコンテンツ「ふれる・まわせる名茶碗」を公開した。 ※文化庁「令和3年度 地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業（先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト）」により制作したコンテンツの再公開。
アンケート結果	「とても楽しかった」「楽しかった」満足度88.8%



⑤ 「自在蛇置物」動態展示の公開

会期	2025年1月2日（木）～26日（日）
会場	東京国立博物館 本館2階特別2室
概要	国立科学博物館との共同研究により開発を継続している「自在蛇置物」。その貸出用展示キットの一部として、「自在蛇置物」の複製が動く展示を東京国立博物館の巳年の特集「博物館に初もうでーへび〜なパワ〜を巳たいの蛇！」にて先行公開した。



⑥ 8Kで楽しむ国宝屏風「洛中洛外 京めぐり」日英バージョンの実証公開

会期	2024年10月5日（土）～14日（月）
会場	NHK名古屋放送センタービル1階 プラザウェーブ21
概要	2022年の「未来の博物館一時空をこえる8K」で公開した8Kコンテンツ「時間をこえた出会いー洛中洛外 400年前の京都へ」（対象文化財：国宝「洛中洛外図屏風（舟木本）」）に社会包摂サービスを加えて改修し、東京以外の地域で初めて公開する実証実験を行い、来場者へのアンケート調査を実施した。
入場者数	1,360人
アンケート結果	コンテンツ全体 95.4% コンテンツ体験後、実作品を実際に見てみたいと感じた 94.4%



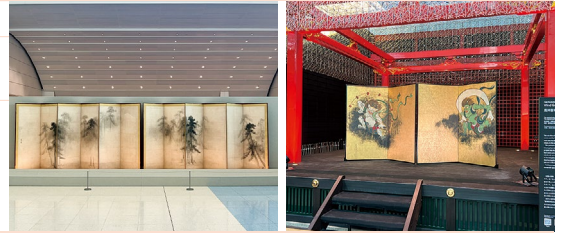
⑦ 「8K文化財」3DCGモデル【国宝 洛中洛外図屏風（舟木本）】の体験展示の実証公開

会期	2024年12月6日（金）～2025年1月29日（水）
会場	佐賀県立美術館
概要	特別展「桃山三都一京・大坂と肥前名護屋」会場内に、佐賀県立美術館との共同で8K文化財体験コーナーを設置し、「8K文化財プロジェクト」により制作した国宝「洛中洛外図屏風（舟木本）」の8K3DCGモデルを用いたインタラクティブな体験型展示を実施した。この実証実験では来場者を対象としたアンケートを実施し、8K3DCGの体験、コントローラーによる操作、コンテンツのユーザビリティなどのフィードバックのデータ収集を行った。
入場者数	13,001人（一日平均295人）
アンケート結果	【満足度】 8K体験の満足度（日本語89.7%、英語100%） 8K体験を通して作品への理解が深まった（日本語85.0%、英語100%） 8K文化財体験後、実作品を実際に見てみたいと感じた（日本語85.2%、英語100%）



⑧「日本美術のつばさ×HANEDA」

会期	2024年6月27日（木）～
会場	第2ターミナル 国際線施設 3階出発ロビー 第3ターミナル4階「江戸舞台」
概要	日本を訪れる海外の方々や国内の皆さまにより広く文化財に親しんでいただけるよう、「日本の四季」をテーマに東京国立博物館が所蔵する国宝・重要文化財の高精細複製品をガラスケースなしで展示。四半期ごとに季節に合わせて展示替えを行う。



⑨「日本美術のつばさ×東京国際クルーズターミナル」

会期	2025年3月7日（金）～
会場	東京国際クルーズターミナル 3階ロビー
概要	日本を訪れる海外の方々や国内の皆さまにより広く文化財に親しんでいただけるよう、「日本の文化」をテーマに東京国立博物館が所蔵する国宝・重要文化財の高精細複製品をガラスケースなしで展示。四半期ごとに展示替えを行う。



■ レプリカ・VR・デジタルコンテンツ・関連プログラム等の開発・展開

企業や各種団体と連携して、先端的な技術による文化財の複製の製作、照明効果や映像、8Kなどの最先端技術を用いたデジタルコンテンツの開発を継続して行ったほか、関連動画を制作した。

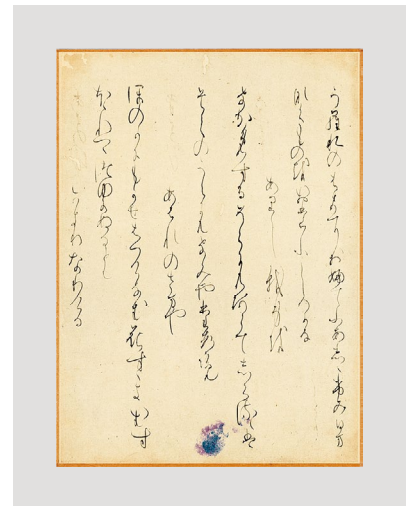
2024年度は、キヤノン株式会社との共同研究で、国宝「松林図屏風」の高精細複製品の製作を開始したほか、展示やハンズオンなどでの活用を目的とし、東京国立博物館所蔵の重要文化財「遮光器土偶」（前後分割版）、重要文化財「三角縁五神四獣鏡」（樹脂製）、「自在蛇置物」、京都国立博物館所蔵の重要文化財「果疏涅槃図」、奈良国立博物館所蔵の「泣不動縁起」、「矢田地蔵縁起」、九州国立博物館所蔵の「斎宮女御集断簡 小島切『うら水の』」〈ほか4点〉などの複製の製作、オンライン用コンテンツ／デジタルコンテンツなどの制作・開発を行った。



ハンズオンレプリカ
重要文化財「三角縁五神四獣鏡」
（樹脂製）



ハンズオンレプリカ
重要文化財「遮光器土偶」
（前後分割版）（樹脂製）



ハンズオンレプリカ
「斎宮女御集断簡 小島切」



ハンズオンレプリカ「自在蛇置物」（金属製）

複製・デジタルコンテンツ活用事業

文化財の複製を博物館・美術館・企業などに貸し出した。高精細複製品を活用した「ぶんかつアウトリーチプログラム」では、全国の小中高等学校、博物館、教員研修にて教育プログラムを実施し、特別支援学校の生徒を含む児童生徒・来館者が参加した。特別支援学校用のキット開発や、鑑賞授業の実践者向けの参考動画制作も行った。また、奈良文化財研究所と協力し、「なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム」を実施するなど、機構内他施設との連携も促進した。

貸出先件数
6件

① 文化財の複製・デジタルコンテンツ貸出事業

博物館・美術館での展示や、商用利用を目的とした文化財の複製およびデジタルコンテンツの貸出を行った。

● 文化財の複製・デジタルコンテンツ貸出（申し込み件数6件 うち、有料1）

2024年 7月	キャノン株式会社	檜図屏風・唐獅子図屏風
2024年 7月	大野城心のふるさと館	蘆屋楓流水鶏図真形釜
2024年 9月	岡山シティミュージアム	平家物語 一の谷・屋島合戦図屏風、唐獅子図屏風
2024年 10月	箕輪町郷土博物館	風神雷神図/夏秋草図屏風 松林図屏風
2024年 12月	佐賀県立博物館・佐賀県立美術館	特別展「桃山三都一京・大坂・肥前名護屋」にて、 「国宝 松林図屏風」プロジェクションマッピング
2025年 1月	九州国立博物館	挂甲の武人（彩色復元）



「国宝 松林図屏風」プロジェクションマッピング
会場：佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

実施件数
26件

② 教育プログラムの提供

東京国立博物館と共同で「ぶんかつアウトリーチプログラム」26件を実施し、特別支援学校の生徒、教員研修参加者を含む2,222名が参加した（うち講師派遣あり16件、なし7件、オンライン3件）。また、2023年度の報告書を刊行した。そのほか奈良文化財研究所に協力し、「なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム」を実施した。



ぶんかつアウトリーチプログラムの様子



■ 企業との連携

企業と連携して、先端的な技術を使った文化財活用方法の開発、文化財の複製やデジタルコンテンツの制作を行うとともに、その成果の公開を進めた。

事業名称	文化財の高精細複製品の制作と活用に関する共同研究プロジェクト	
連携開始	2018年	
参加事業者	キャノン	
目的	・ 高精細複製品利用による、文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・ 教育プログラムを実施するファシリテーターなど、文化財の活用に係る人材の育成 ・ 高精細複製品について、原本の再現性、耐久性、活用に際しての利便性の向上	
活動概要	高精細複製品製作：1件、教育プログラム実施26件、体験型展示での使用3件、貸出（デジタルコンテンツ含む）4件、他機構内使用	



高精細複製品の製作過程 ▲

事業名称	バーチャルリアリティに関する共同プロジェクト		
連携開始	2018年		
参加事業者	TOPPAN（旧凸版印刷）・東京国立博物館		
目的	・ デジタル技術による文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・ デジタル技術を活用した文化財の鑑賞方法の開発		
活動概要	VR作品監修：1件		
東京国立博物館TNM&TOPPANミュージアムシアター「国宝 松林図屏風」▲			

事業名称	高精細モニターを用いた文化財の活用方法の開発に関する共同プロジェクト	
連携開始	2019年	
参加事業者	シャープ・シャープマーケティングジャパン	
目的	・ 高精細モニターを活用した文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・ 高精細モニターを活用した文化財の鑑賞方法の開発とデバイス・コンテンツの制作	
活動概要	コンテンツの開発：1件 江戸時代の小袖雛形本ときものに着目したデジタルコンテンツ「江戸きものLOOKBOOK」の開発と実証公開。	
		
「江戸きものLOOKBOOK」会場風景 ▲		

事業名称	みんなの8K文化財プロジェクト	
連携開始	2020年	
参加事業者	NHK・東京国立博物館	
目的	・ 最先端のスキャナーやフォトグラメトリ技術（多方向から撮影した画像を統合し3D化する技術）を使用した3DCG「8K文化財」の制作 ・ 8K文化財を活用した放送番組の制作と放映、展覧会などのイベント実施、情報通信ネットワークなどでの発表 ・ 制作した8K文化財コンテンツの幅広い分野での活用	
活動概要	コンテンツ新規制作：2件 東京国立博物館展覧会（特別展「はにわ」特別展「イマージュシアター 新ジャポニズム」の各会場外の体験コーナーにおける活用2件、その他放送、イベント、インターネット、大学授業等で8K文化財の活用合計19件。	



特別展「はにわ」会場外での8K文化財体験コーナーの様子（東京国立博物館）▲

事業名称	文化財複製を活用した巡回展示キット開発にかかる共同研究プロジェクト		
連携開始	2024年1月		
参加事業者	国立科学博物館		
目的	・ 文化財の複製を活用し、全国の博物館・美術館等へ簡易に輸送し展示することができる文理融合型の巡回展示キットの開発		
活動概要	文化財複製を活用した巡回展示キット開発に向けた実験展示。「自在蛇置物」(複製)の動態展示部分のみを東京国立博物館の本館特別2室にて、2025年1月2日～26日までの期間、先行公開した。		
東京国立博物館での「自在蛇置物」(複製)動態展示部分の公開 ▲			

貸与促進担当

国立博物館は、従来から収蔵品を自らの施設で展示公開するだけでなく、外部のミュージアムにも貸し出し、国内外の展覧会に協力してきた。〈ぶんかつ〉は、日本とアジアの歴史・文化をよりいっそう広く伝えるため、国立博物館の収蔵品貸与の促進に取り組む。

貸与促進事業

実施館
6件

貸与件数
86件

来場者数
60,569人

国立博物館と共同で、日本とアジアの歴史・伝統文化の発信ならびに地方創生・観光振興、次世代への文化財の継承に寄与することを目的として、国内各地のミュージアムに対して国立博物館の収蔵品を貸し出し、それにかかる作品輸送費等を支出する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。

2024年度は、鹿児島市立美術館等6施設に、計86件の文化財を貸し出し、総計60,569人の方が鑑賞の機会を得た。事業のより幅広い層への周知のため、実施館への広報支援も行った。また、貸し出し可能な文化財の充実をはかるため、本格修理や応急修理を行った。

実施館	鹿児島市立美術館 (鹿児島県)
展覧会名称	「鹿児島市立美術館開館70周年記念 没後100年 黒田清輝とその時代」
会期	2024年7月24日～9月1日
貸与件数	43件
来場者数	18,212人
満足度	96.2%



実施館	岐阜県美術館 (岐阜県)
展覧会名称	「『清流の国ぎふ』文化祭 2024 皇居三の丸尚蔵館 特別協力 『PARALLEL MODE:山本芳翠』」
会期	2024年9月27日～12月8日
貸与件数	6件
来場者数	16,909人
満足度	95.0%



実施館	福井市立郷土歴史博物館 (福井県)
展覧会名称	「鉄の名工 越前明珍」
会期	2024年10月19日～12月1日
貸与件数	6件
来場者数	5,386人
満足度	94.0%



実施館	豊橋市美術博物館 (愛知県)
展覧会名称	「銅鐸の国ー伊奈銅鐸出土100年ー」
会期	2024年11月30日～2025年2月2日
貸与件数	14件
来場者数	5,545人
満足度	98.0%



実施館	佐野市立吉澤記念美術館 (栃木県)
展覧会名称	「佐野市制20周年記念特別企画展 丸山瓦全と 佐野のお宝保護作戦！ーエラスムス立像を見つけ、 天明銅物をまもったー」
会期	2025年1月25日～3月9日
貸与件数	9件
来場者数	2,745人
満足度	98.4%



実施館	茨城県立歴史館 (茨城県)
展覧会名称	「開館50周年記念 雪村ー常陸に生まれし遊歴の画僧ー」
会期	2025年2月15日～4月6日
貸与件数	8件
来場者数	11,772人
満足度	92.4%



「鹿児島市立美術館開館70周年記念 没後100年 黒田清輝とその時代」展示風景



「開館50周年記念 雪村ー常陸に生まれし遊歴の画僧ー」展示風景

保存担当

博物館や美術館等、文化財保存施設における、展示・収蔵環境管理に関する相談対応、改善のための調査、技術支援、また、研修会や講習会の開催などを通じて、質の高い文化財の保存と活用の両立に寄与する。

対応件数
141件

■ 保存環境に関する相談対応、調査協力など

博物館・美術館等からの展示・収蔵環境に関する相談に対応し、必要に応じて現地調査、改善のための協力を行った。また、文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による国指定品の公開を予定している博物館・美術館を対象とした保存環境調査について、文化庁からの協力依頼を受けて行った。

● 内容等

- 文化財の保存環境管理、改善に関する相談対応 (75件 うち10件に対して現地調査を実施)
- 新築・増改築を行う施設の設計、設備等に関する対面での協議 (6件)
- 国指定品の所有者以外による公開に関わる資料保存環境調査 (対応件数55件)
- 公開承認施設申請に係る環境調査や改善への助言 (3件)
- 令和6年度および7年度貸与促進事業内定施設の保存環境調査 (2件)



収蔵庫の微生物調査

■ 保存環境に関する研修会等人材育成事業

学芸員や自治体の文化財行政担当者に、文化財保存施設における環境管理の基礎を学んでいただくことを趣旨とした「博物館・美術館等保存担当学芸員研修（基礎コース）」、および、保存管理専従者や、文化財保存の研究者などを対象とした、環境調査や管理に関する深い知識を学ぶための「保存環境調査・管理に関する講習会」をそれぞれ開催した。また、令和6年度より、各都道府県等の博物館協議会等との共催による研修会を要請により実施することとした。

研修会等	博物館・美術館等保存担当学芸員研修（基礎コース）
主催	文化財活用センター
参加者数	① 24名 ② 26名
期間	① 2024年7月29日～8月2日 ② 2025年1月20日～1月24日 (いずれも、黒田記念館セミナー室)

研修会等	第8回保存環境調査・管理に関する講習会 —北川式検知管の開発状況と空気環境管理の課題—
主催	文化財活用センター、東京文化財研究所
参加者数	21名 (うち18名リモート参加)
期間	2024年11月5日 (文化財活用センター内)

研修会等	第9回保存環境調査・管理に関する講習会 —博物館等の空気環境における“のぞましい値”の考え方について—
主催	文化財活用センター、東京文化財研究所
参加者数	23名 (うち20名リモート参加)
期間	2025年3月3日 (文化財活用センター内)

研修会等	栃木県博物館協会 「令和6年度博物館文化財セミナー」
主催	栃木県博物館協会、栃木県立博物館、文化財活用センター
参加者数	45名
期間	2024年7月10日 (栃木県立博物館)

研修会等	埼玉県博物館連絡協議会 「後期研修会」
主催	埼玉県博物館連絡協議会、文化財活用センター
参加者数	21名
期間	2025年2月14日 (埼玉県立歴史と民俗の博物館)



栃木県立博物館における研修会

■ 保存環境に関する基礎研究等業績

1. “愛知県蒲郡市無量寺の宝物殿における環境整備の取り組み” (間瀬創ほか)
文化財保存修復学会第46回大会
2. “HERIE を利用した山・鉾・屋台を保管する倉庫の温湿度環境評価について” (間瀬創ほか)
保存科学第64号 (東京文化財研究所)

デジタル資源担当

機構各施設の保有する文化財に関わるテキスト、画像といった情報を連携させ、デジタル資源化を推進するとともに、情報の利活用を促進する。

文化財のデジタル資源化の推進と国内外への情報発信

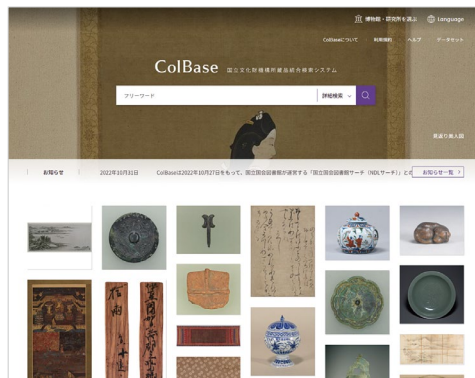
① ColBase (国立文化財機構所蔵品統合検索システム)

「作品種別」の整備を進めるとともに、画像の追加、解説文等のデータ更新を行った。サーバ機器の更新および稼働環境のアップデートを行い、運用の安定性向上に努めた。

● 掲載件数 (2025年3月末)

	日本語	英語	中国語	韓国語
総件数 (総作品数)	135,176 (149,234)	28,386 (34,762)	15,182 (17,600)	15,580 (17,990)
解説掲載件数	15,960	7,092	5,469	5,500
画像掲載件数 (※1)	41,551	23,751	13,314	13,463

※1 2024年度画像追加件数: 4,251件 4,006枚

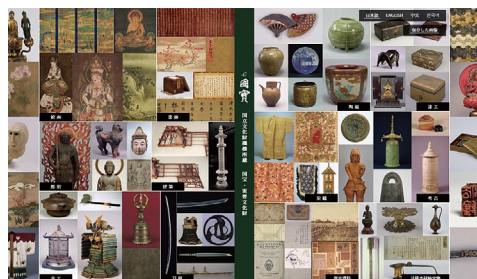


ColBaseトップページ

② e国宝 (国立文化財機構所蔵 国宝・重要文化財 デジタル高精細画像)

新規作品を追加するとともに、解説文の更新、多言語解説の翻訳見直しを行った。また管理機能を改修し、効率的なデータ更新を行えるようにした。

アクセス数	159,010件	(2025年3月末)
掲載件数	1,144件	(2025年3月末)



e国宝トップページ

総務担当

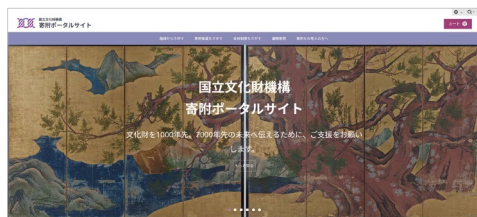
企業、各種団体、および広く一般の個人を対象としたファンドレイジング活動を通して、多くの人が文化財に親しみをもつとともに、文化財の保存と活用に参画する機会を創出する。

■ ファンドレイジング事業

① 寄附ポータルサイトの運営

機構各施設の寄附受入に関する情報を集約し、クレジットカード・銀行振込での決済を可能とするサイト「国立文化財機構寄附ポータルサイト」を継続して運営した。

国立文化財機構寄附ポータルサイト	2024年度寄附金額 (開設からの総計)	4,726,000円 24,975,000円)
------------------	-------------------------	----------------------------



国立文化財機構寄附ポータルサイト トップページ

② 踊る埴輪&見返り美人 修理プロジェクト

2022年度に東京国立博物館の創立150年を記念し、東京国立博物館と共同で実施した「埴輪 踊る人々」と「見返り美人図」の修理費等を募るプロジェクト。キャラクター「初音ミク」と「見返り美人図」のコラボ「見返り美人ミク」を引き続き展開するとともに、このプロジェクトをきっかけとして埴輪と「初音ミク」「鏡音リン・レン」の新たなコラボを展開し、グッズ製造高に応じて2024年度は741,800円の寄附を受けた。また、ブログやSNSを通じて修理状況のレポートを配信し、寄附者を中心とした一般に向けて、支援の意義を継続的に発信した。

募集期間	2022年4月1日～2023年3月31日	受入総額	15,396,445円
目標額	10,000,000円		



「埴輪 挂甲の武人ミク」と
「埴輪 踊る人々リン・レン」キービジュアル

③ 地域の宝をみんなで守る | 文化財防災・救援プロジェクト2025

文化財防災センターと共同で、災害時の文化財を救援するための初動資金を募るクラウドファンディングを開始し、2024年度は3,566,000円の寄附を集めた。ブログやSNSを通じて文化財防災に関するレポートを配信し、寄附者を中心とした一般に向けて、支援の意義を継続的に発信した。

募集期間	2025年3月11日～2025年6月9日
目標額	5,000,000円(当初目標) ▶ 7,000,000円(第2目標)



地域の宝をみんなで守る | 文化財防災・救援プロジェクト2025 チラシ・ポスター

④ ファンドレイジングの活性化に向けた取組

● ファンドレイジング勉強会の開催

外部資金獲得に向けた取組を機構全体で活性化させるため、ファンドレイジング事業実施に関する情報共有等を行うための勉強会を実施した。

	日程	テーマ
第11回	2024年 6月 14日	国立科学博物館のクラウドファンディング事例 【講師：田中庸照氏】(国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター 主任)
第12回	2024年 10月 28日	京都大学のファンドレイジング事例 【講師：鈴木卓馬氏】(京都大学 成長戦略本部 統轄事業部 ソーシャルリレーションズ領域 統括)
第13回	2025年 1月 22日	原爆の図丸木美術館のファンドレイジング事例 【講師：浅井美絵氏】(フリーランスファンドレイザー)

● 「寄附したくなる募金箱」への改修と設置

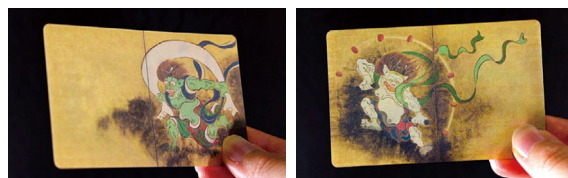
機構各施設において、募金箱を契機とした寄附事業に関する広報発信の強化に取り組んだ。2024年度は、東京文化財研究所内に移動式の募金箱を設置するとともに、パンフレットを整備した。



東京文化財研究所内の募金箱

● 寄附促進キャンペーンの実施

毎年12月に全国規模で行われる寄附啓発活動「寄付月間」に合わせて、寄附促進キャンペーンを実施した。機構が実施する対象事業に2,000円以上のご寄附をいただいた方全員に、東京・京都・奈良・九州の国立博物館所蔵の名品をモチーフとしたレンチキュラーカード「動く! 名品カード」を配布することで、寄附者へ感謝の気持ちを伝えると同時に、機構の寄附事業に関する広報活動の強化に取り組んだ。



レンチキュラーカード「動く! 名品カード」

広報実績

(集計期間2024年4月1日～2025年3月31日)

ぶんかつウェブサイト (<https://cpcp.nich.go.jp/>)

ページビュー数 29,156 (セッション数)

閲覧数の多いページ

1	トップページ	9.4%
2	展示・イベント	5.1%
3	「8K文化財 体験コーナー」アンケート	4.1%
4	江戸きものLOOKBOOK	2.9%
5	貸与促進事業 展覧会情報	2.6%



訪問者言語

日本語	94.0%
英語	2.8%
中国語	2.1%

主な更新事項

- ・トップページ、ブログ一覧等の改修

ぶんかつブログ (<https://cpcp.nich.go.jp/modules/rblog/1/>)

進行中の事業、イベントや展示の見どころ、活動の舞台裏、文化財にまつわる基礎知識などを各担当のスタッフが紹介。

投稿件数 22件 (総投稿数 183件)



SNS発信

ぶんかつや機構内他機関の展示・イベント、研修等、旬な情報を、SNSを活用して発信

- ・X (旧Twitter) @cpcp_nich
…3,587フォロワー／総ポスト数 1,530 ※リポスト含
- ・Instagram@cpcp_nich
…2,105フォロワー／総投稿数 535
- ・YouTube ぶんかつ【文化財活用センター】
…チャンネル登録者数 1,380人／総投稿数 48



プレスリリース配信・記者内覧会等の実施

配信件数 11件

国内外メディアに向けて、ぶんかつが取り組む事業に関する情報を発信した。過去のプレスリリースは下記参照。

https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_db/index.php?controller=list&t=db_for_press&past=1

https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_db/index.php?controller=list&t=db_for_press

記者内覧会等の実施 1件

- 1 2024年7月22日 江戸きものLOOKBOOKプレスレビュー

動画制作

YouTubeぶんかつ【文化財活用センター】チャンネル(<https://www.youtube.com/c/cpcpnich/channels>)にて、ぶんかつが手掛ける事業や体験型展示の紹介、複製品、デジタルコンテンツ制作の舞台裏、アウトリーチプログラムについての教員向け動画、シンポジウム等のアーカイブ動画などを公開。

2024年度公開件数 6件

パンフレット・チラシ等、印刷物制作 (8件)

- 1 文化財活用センター事業報告書 2023年度
- 2 2023年度ぶんかつアウトリーチプログラム報告書
- 3 2026年度国立文化財機構所蔵品貸与促進事業実施対象館募集チラシ
※日本語・英語・中国語増刷
- 5 2025年度ぶんかつアウトリーチプログラム募集パンフレット
- 6 2025年度なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム募集チラシ
- 7 「埴輪 踊る人々」の修理
- 8 独立行政法人国立文化財機構 遺贈・相続財産寄附のご案内

地域での広報

貸与促進事業実施館地域での広告【有料】

実施館 : 鹿児島市立美術館
掲出媒体等 : ポスター・チラシ、「南日本新聞」広告掲載、公共交通機関 (JR 列車内、市電・市バス車内) へのポスター掲出 (※)、ヴィジョン CM (※)、商店街へ吊り下げ看板設置 (※)、美術館入口3か所へ屋外看板設置 (※)

実施館 : 岐阜県美術館
掲出媒体等 : SNS (Facebook・Instagram) 広告 (※)

実施館 : 福井市立郷土歴史博物館
掲出媒体等 : ポスター・チラシ

実施館 : 豊橋市美術博物館
掲出媒体等 : ポスター・チラシ

実施館 : 佐野市立吉澤記念美術館
掲出媒体等 : ポスター・チラシ、「下野新聞」広告掲載 (※)

実施館 : 茨城県立歴史館
掲出媒体等 : ポスター・チラシ、公共交通機関 (JR 駅構内、JR 等列車内) へのポスター掲出 (※)

(※) は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出

職員

(R7.3.31時点)

文化財活用センター長 大美 慶昌
副センター長 丸山 士郎

企画担当

課長	藤田 千織
室長	高橋 美奈子
主任研究員	小島 有紀子
主任研究員	飯田 茂雄
主任研究員	神辺 知加
研究員	沼沢 ゆかり
専門職	松沼 穂積
アソシエイトフェロー	加納 彩子 (～2024年8月31日)
アソシエイトフェロー	山本 千尋 (2024年11月1日～)
事務補佐員	岡崎 瑠美

貸与促進担当

課長	沖松 健次郎
主任専門職	関 紀子
主任専門職	田邊 留美子
アソシエイトフェロー	藤原 千冬

デジタル資源担当

課長	村田 良二
室長	阿児 雄之
専門職	竹内 俊貴
(兼)	田邊 留美子
アソシエイトフェロー	李 芝賢
アソシエイトフェロー	川合 加容子 (2024年7月1日～)
事務補佐員	小田 千奈津
事務補佐員	敦賀 菜月

保存担当

課長	吉田 直人
主任研究員	間渕 創
研究員	野中 昭美
事務補佐員	内藤 百合子

総務担当

課長	岩田 育美
係長	田村 淳朗
係員	松本 日向子
アソシエイトフェロー	菊地 海斗
事務補佐員	村山 舞子

文化財活用センター事業報告書 2024年度

発行日 令和7年(2025)6月30日

編集・発行 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9(東京国立博物館 東洋館5階)

デザイン・印刷 大協印刷株式会社